

財 務 省 第 11 入 札 等 監 視 委 員 会
平成 2 4 年 度 第 4 回 定 例 会 議 議 事 概 要

開 催 日 及 び 場 所	平成 2 5 年 6 月 1 9 日 (水) 四国財務局第二会議室	
委 員	委員長 高倉 康 (有限責任監査法人トーマツ高松事務所 公認会計士) 委 員 平井 健之 (国立大学法人香川大学経済学部 教授) 委 員 藤本 邦人 (アローズ法律事務所 弁護士)	
審 議 対 象 期 間	平成 2 5 年 1 月 1 日 (火) ～ 平成 2 5 年 3 月 3 1 日 (日)	
抽出案件	4 件	(備考)
競争入札 (公共工事)	2 件	契 約 件 名 : 高松国税総合庁舎自動火災報知設備他感知器取替工事 契 約 相 手 方 : ホーチキ株式会社 契 約 金 額 : 4,725,000円 契 約 締 結 日 : 平成25年 1 月 31 日 担 当 部 局 : 高松国税局
		契 約 件 名 : 平成24年度林町住宅 3 号棟屋上防水改修工事 契 約 相 手 方 : 有限会社中條防水工業所 契 約 金 額 : 4,987,500円 契 約 締 結 日 : 平成25年 1 月 23 日 担 当 部 局 : 四国財務局
随意契約 (公共工事)	—	—
競争入札 (物品役務等)	2 件	契 約 件 名 : レントゲン車の売払い 契 約 相 手 方 : 日通商事株式会社 契 約 金 額 : 4,725,000円 契 約 締 結 日 : 平成25年 2 月 4 日 担 当 部 局 : 高松国税局
		契 約 件 名 : 平成24年度香川県内合同宿舍受水槽清掃業務 契 約 相 手 方 : 株式会社ジィティメンテナンス 契 約 金 額 : 945,000円 契 約 締 結 日 : 平成25年 1 月 7 日 担 当 部 局 : 四国財務局
随意契約 (物品役務等)	—	—
応札 (応募) 業者数 1 者関連	—	—
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委 員 会 に よ る 意 見 の 具 申 又 は 勧 告 の 内 容	なし	

意見・質問	回答
【案件１】 「高松国税総合庁舎自動火災報知設備他感知器取替工事」 契約相手方： ホーチキ株式会社 契 約 金 額： 4,725,000円 契約締結日： 平成25年 1 月31日 担 当 部 局： 高松国税局 入札に参加したもう１者は、既設メーカーの機器を取り扱っていないと思われるが、どこのメーカーの感知器を納入する予定だったのか。 既設メーカー以外の機器を使用することに問題はないのか。 今回、入札に参加した業者は２者だが、既設の受信機と互換性のある機器を取り扱っている業者は他にいないのか。 【案件２】 「平成24年度林町住宅３号棟屋上防水改修工事」 契約相手方： 有限会社中條防水工業所 契 約 金 額： 4,987,500円 契約締結日： 平成25年 1 月23日 担 当 部 局： 四国財務局 防水改修工事はこれまでも案件があったと思うが、今回５者が参加し競争性も確保されている。これまでも今回と同様にこれくらいの数の業者が参加しているのか。 業者が所在する場所には関係なく、全国どこからでも参加があるのか。 香川県内に所在する業者だけでも15者あり、香川県内業者だけに絞り地元の業者にやってもらうという考え方はないのか。	ニッタン製の感知器を納入する予定であった。 ニッタン製の感知器も既設の受信機と互換性を有しており、使用上、問題がない機器であることを事前に確認している。 取扱業者については把握していないが、既設の受信機と互換性のある機器を製造しているメーカーは、ホーチキ株式会社、ニッタン株式会社以外では２者あるようである。 防水改修工事にかかる入札については、平成20年度は４棟、21年度は３棟、23年度は７棟、24年度は３棟を実施しており、各入札の参加者数は３～４者程度であった。 ご質問のとおり、入札参加資格があれば全国どこからでも入札に参加できる。通常、防水改修工事は天候に左右されるため、雨の少ない冬場に集中して行われることが多く、今回は四国管内の業者のみ参加している。 会計法令では、契約担当官の判断で更に参加資格を定めることもできるが、県内業者に絞ることは、適正な競争性が確保できなくなるため、そのような考えは持っていない。

【案件 3】

「レントゲン車の売払い」

契約相手方：日通商事株式会社

契約金額：4,725,000円

契約締結日：平成25年2月4日

担当部局：高松国税局

予定価格の積算に際して、2者から徴した見積書は非常に低い金額であったが、落札金額が高額となったのはなぜか。

見積書を徴した2者はどのような業者なのか。

他の国税局において、参考となる事例はなかったのか。
また、どのような業者が入札に参加しているのか。

医療機関が入札参加資格を取得しているのはなぜか。

【案件 4】

「平成24年度香川県内合同宿舍受水槽清掃業務」

契約相手方：株式会社ジィティメンテナンス

契約金額：945,000円

契約締結日：平成25年1月7日

担当部局：四国財務局

今回は入札参加業者が8者ということで競争性も十分に確保されている。今回の落札率は53.5%と低いものとなっているが、このあたりの事情は聞いているか。

入札は電子入札ではなくて一同に介したのか。

基本的に各入札参加者には誰が、入札に参加するか分らないのか。

今回「D」等級だけでも5者に増えているが理由は。

2者から徴した見積書の金額から判断すると、入札ではなく随意契約によることもできたが、2者から徴した見積書の金額が非常に低いこと、過去に同様の売払い実績がないこと等を考慮し、広く参加者を募るため、今回入札を実施した。

この結果、様々な業種の入札者の参加が可能となり、予定価格を上回る落札金額になったと考えている。

医療機関と自動車販売店である。

他の国税局にも同様の事例はあるものの、件数も少なく、経過年数等、個々に事情が異なることから、ほとんど参考にならなかった。

他の国税局においても、医療機関等が入札に参加したと聞いている。

健康診断や人間ドックの入札に参加するために入札参加資格を取得していると考えられる。

受注者に確認したところ、年末年始は受水槽清掃業務の発注が最も集中する多忙な時期であるとのことであった。

また、受注者の従業員8割が清掃業務に従事し、更に県内の官公庁発注の受水槽清掃業務も数多く受注しているため、この時期の短期間に集中的に人員を投入でき、人件費を下げる事が可能であると聞いている。

電子入札方式である。応札者8者のうち7者は電子入札で、1者は紙入札である。

応札者には紙での参加も認めているが、電子入札による参加もあるため全体像は見えない。そのため、参加者の把握はできないと考えている。

通常の場合、公告期間（開庁日ベース）は10日間

入札に参加する業者は毎年違うのか。	あるが、今回13日間としている。 法律等で年1回の清掃が義務付けられており、毎年概ねこの時期の発注としている。平成21年度では5者の参加、22年度は2者である。今回公告期間の延長、参加資格の拡大を行ったことが一因かもしれないが詳細は不明である。 参加者については、ほぼ毎年同じ業者が参加しているが、今回は「C等級」にも拡大したため、新たな業者の参加があった。
--------------------------	--